

多様なニーズに
応えるべく、
進む受け皿づくり

昨年11月からは、県内各市町村による「『すまいる山形暮らし』県・市町村連絡会議」でも、団塊の世代」に山形ならではの多様なライフスタイルを創出し、交流人口の拡大や山形への定住・定着につなげようと、相談窓口の強化、情報受信の強化、全県的な取り組み体制づくり、個別受け入れサービスの充実・強化

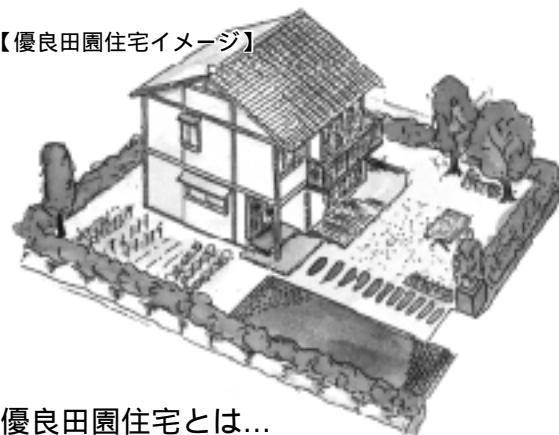


泊2日の日程を訪れ、市内の散策や柿づくり体験などを通して本市の魅力や環境に触れた「震災対策・疎開先体験ツアー」（11月18日・19日）

また、市はこのほど農村地域での住宅建設を支援する「優良田園住宅の建設の促進に関する基本方針」を策定。これは、自然志向者や「団塊の世代」、U・J・Iターン者を対象に、都市計画法により住宅建設に制限のある市街化調整区域を含む郊外地域への定住を促進することで、人口増加や地域コミュニティの活性化などを図っていきます。

坊平にある「ZAOたいらぐら」を拠点にそば打ち体験やソーセージ作り体験を企画したり、首都圏の中学生が本市を訪れ農作業や旅館での仕事を体験する修学旅行の受け入れを支援したりしているほか、農産物加工・果樹作業・畜産など市内で体験できるメニューをまとめ、ホームページで広く情報を発信しています。さらに上山市観光協会では、仙台圏を対象に、地震や津波噴火など万が一の災害のとき

【優良田園住宅イメージ】



優良田園住宅とは...

都市計画法上、農家や特定の施設等しか認められていない市街化調整区域（都市計画法に基づく都市計画区域のうち、市街化を抑制するため、開発や建築等が原則的に禁止されている区域）での住宅建設も可能にするなど、農村地域に優良な住宅を持ちやすいように支援するもの。市町村が基本方針を定め、建築主が申請する建設計画が基準を満たしていれば県と協議の上、認定する

用語解説 地域コミュニティ...地域住民が生活している場所、つまり消費、生産、労働、衛生・医療、遊びなどに関わり合いながら住民相互の交流が行われている地域社会

グリーン・ツーリズム...緑豊かな農山漁村地域で、その自然、文化などの体験活動をしながら、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動

に、本市が被災者の避難・疎開場所を一定期間確保するシステム「災害疎開パッケージ」として、11月18日・19日に初めて「震災対策・疎開先体験ツアー」を実施。仙台市から約二十人が参加し、本市の魅力や豊かな環境を肌で感じていました。

我が “心のふるさと”

都会での便利な暮らしを離れ、上山が好きで移り住んだり自分のふるさとに戻ったりして、上山で新たな人生をスタートさせた人々...。帰りたいくなる場所」や「大切な何かを求めて、都会から田舎へやってくる人々...。市は、そうしたみなさんを積極的に応援し、受け入れていきます。生まれる場所を選ぶことはできなくとも、暮らす場所は自分で選ぶことができます。今回、取材した移住者の多くが口にした上山市の魅力。「四季折々に見せる自然の豊かさや恵み」、そして、「この土地に住む人々の心の温かさ」...。彼らはわたしたちに



上山市総合政策課政策企画グループ
【交流居住 担当】

KIMURA YOSHIHIRO
木村義博 主幹

「上山らしい地域資源を生かした取り組みで、新しい風」を呼び込む



山形県総務部改革推進室政策企画課
【すまいる山形暮らし案内所】

HAYASHI YOSHIKAZU
林 義和 課長補佐

『人財』が地域活性化の大きな力に。まずは地域の魅力を発信すべき

県では、今後10年間の県づくりの方針「やまがた総合発展計画」に基づき、県内外の人々の多様なライフスタイルの実践を支援する環境の整備に取り組んでいます。対象は、主に首都圏に住む「団塊の世代」。具体的には、18年度から県庁内に「すまいる山形暮らし案内所」を設置したり、ホームページ「すまいる山形暮らし情報館」を開設し情報の受発信を強化したりしているほか、シンポジウムやフェアを通して首都圏に積極的にPR。また「『すまいる山形暮らし』県・市町村連絡会議」を組織して、県内各市町村との情報交換や「地域モデルプラン」の充実を図っています。

「団塊の世代」は、将来、医療・介護など福祉の面でさまざまな問題が考えられるのも事実。しかし、それらを踏まえても、これまでの人生で培った確かな経験や技術、人脈を持ち合わせた貴重な『人財』として、地域の活性化につながるものと期待しています。年々、移住などに関する相談件数は増えていますが、定住にこだわらず、まずは山形県に来てもらえるように、地域の魅力を発信することが大切です。今後は「地域モデルプラン」をはじめ、より多くの人に山形に足を運んでもらえる素材づくりや、民間企業・団体の情報発信など、「団塊の世代」を含めた幅広い年代を受け入れる体制をさらに整備・強化していきたいと考えています。

普段はあまりに身近すぎて気に留めることが少なかったそれらの魅力を改めて教えてくれます。また、これまでの人生で培ってきた経験や技術、人脈、何より地域に積極的にとけ込み、何かしようという気持ちやいきいきとした姿が、上山に新たな風を吹かせた皆さんの元気を生み出しています。いつもはそれぞれの胸の奥に大切にしまっている『心のふるさと』...。そのやわらかな息吹がこだまするとき、上山の魅力がまた一つ、地域にそして人々の心の中に力たちとなって実るのです。

「交流居住」問い合わせ一覧

- すまいる山形暮らし案内所（県庁改革推進室政策企画課内）
☎ 630-3083 すまいる山形暮らし情報館（県公式ホームページ内）
<http://www.pref.yamagata.jp/y-life/>
- 認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター ☎ 03-6812-8689
ホームページ <http://www.furusatokaiki.net/>
- 全国田舎暮らしガイド「交流居住のススメ」（総務省ポータルサイト）ホームページ <http://kouryu-kyoju.net/index.php>
- 上山市総合政策課 ☎ 672-1111（内線 222）